



# かがれ

## 戸三小アートミュージアム

副校長

12月の工事で照明器具がLED化されて明るくなった体育館及び西校舎1階廊下で、1月21日、22日の2日間、作品展を行いました。展示作品は、1学期から取り組んだ全学年の図工、5・6年生の家庭科に、書き初めを加えました。書き初めは、例年、1月の学校公開に合わせて行っている書き初め展で展示しているものです。これまでの作品展は、音楽会と同時開催だったので、作品が体育館に飾られることはありませんでした。日頃、子供たちが飛び跳ねて運動をしている体育館が、アートな空間に様変わりです。

全学年の作品が一堂に会したことで、子供たちの成長過程がとてもよく分かりました。1つ1つの作品に注目すると、その子が何をどのように捉え、想像し、表出しているのかという、目に見えないプロセスが形になっていて、たいへんに興味深かったです。また、制作途中の写真を撮っていたので、「あの作品がこう仕上がったのか」と、子供たちの顔を思い浮かべながら鑑賞するのがとても楽しく、体育館を後にする頃には、心の中が温まっている感覚がありました。

子供たちは、作品を見て感想を述べ合ったり、きょうだい学年(1年生と6年生など)にメッセージカードを書いたりして、交流しました。特に、下級生は上級生の作品に憧れたようで、「〇年生になったら、〇〇を作りたい」と思ったようです。

保護者の皆様には、2日間で延べ218名の方にご鑑賞いただきました。分散してのご来校をありがとうございました。お寄せいただいた感想を紹介します。

- ・低学年はかわいらしく、中学年は成長を感じ、高学年になると作品にさらに個性や性格が出ていてさすがでした。
- ・みんなの想いのこもった作品たちが輝いていました。書き初めも、一生懸命に書いたのが伝わってきました。自由な感性で、見ていてとても楽しかったです。
- ・感性豊かな作品から子供たちの夢や希望が感じられ、コロナ疲れが癒されました。
- ・作品を通して、子供たちが楽しく学校生活を送っていることが感じられました。

最後になりますが、4年生保護者の皆様には、2日間、受付と会場の係を担当いただきました。ご協力に感謝申し上げます。

## 2月の主な行事予定

1	火	分散登校前半終	
2	水	分散登校後半始	
3	木		
4	金	新1年生保護者会	
5	土		
6	日		
7	月	避難訓練	
8	火		
9	水		
10	木	分散登校後半終 理科実験名人4年 モンゴル文化体験2年 安全指導	
11	金	建国記念の日	
12	土		
13	日		
14	月	道徳週間始 美術鑑賞教室4年	
15	火	プラネタリウム4年 放課後学習教室	
16	水		
17	木	社会科見学3年	
18	金	道徳週間終	
19	土		
20	日		
21	月	保護者会1~4年	
22	火	防災出前授業4年 放課後学習教室	
23	水	天皇誕生日	
24	木	6年生を送る会(全)	
25	金	模擬選挙6年 保護者会5・6年	
26	土		
27	日		
28	月		

※予定は変更になることがあります。

※2月10日までは分散登校となります。14日からは特別時程に戻る予定ですが、感染状況によっては変更になる場合もあります。

※下校時刻は、学年便りを確認してください。



## 体を動かす習慣をつくろう！

持久走担当

1月17日から28日までは、持久走旬間でした。今年度も、各クラスが体育の時間に持久走に取り組みました。はじめのうちは、最初から全力を出して走ってしまい、ペース配分を考えることが難しかったようです。しかし、取り組むうちにだんだんと慣れていき、リズムカルに腕を振り、一定の速さで走れるようになりました。友達と競走するのではなく、自分にとって心地よいペースを見つけて走り続けられるよう、どの子も一生懸命に頑張っていました。



スポーツ庁による調査では、小中学生の体力が低下傾向にあり、中でも20mシャトルランなどの持久力を測る種目での低下が顕著だそうです。コロナ禍での運動不足がその一因であると考えられています。持久走旬間やなわ跳び旬間、体育の授業をきっかけに、体を動かす習慣を身に付け、体力が向上する喜びを実感してほしいと思います。

## 楽しいクラブ活動

特活主任

本校では、4～6年生がクラブ活動を行っています。今年度は6つのクラブで活動しています。毎月の活動を子供たちはとても楽しみにしているようです。クラブ活動で印象に残っている活動を、子供たちに聞いてみました。

スポーツクラブは、卓球戸三カップで白熱した試合をしたこと。アートクラブは、紙で駒を作って、みんなで回したこと。家庭科クラブは、久し振りの実習で、クリスマスケーキを作ったこと。パソコンクラブは、いつもは個人で行っているプログラミングをチームで作ったこと。昔遊び・ボードゲームクラブでは、トーナメント戦でオセロ大会をしたこと。科学クラブはいろいろな色のスライムを作ったこと。



どのクラブも自分たちで活動を考えて取り組むことで、自主的な活動ができています。また、興味・関心が同じ仲間と、学年を超えて交流をするよい機会となっています。



## 戸三小の応援団～地域協働学校の取組み～

主幹教諭

地域協働学校は、学校、家庭、地域が一緒になって、子供たちの豊かな学びの環境をつくっていくための仕組みです。地域住民、保護者、卒業生等を代表した委員の方々と本校全教員が、年間10回程度の運営協議会を行っています。より充実した授業づくり、安全・安心な学校づくり、心豊かな環境づくりのために有効な取組みを協議し、実践しています。

### (1) 学習支援部

地域の「プロフェッショナル」をゲストティーチャーにお招きし、子供たちの学びをより深めることを目指しています。今年度も低学年の英語活動や、2年生の町探検（お店）を地域の方にお願ひし、子供たちに大好評でした。



### (2) 安全安心支援部

集団登校再開に向けて、地区別班の再編成を行いました。班をなるべく分散させ、集合場所や通学路でもソーシャルディスタンスが確保できるよう、現在最終調整を行っています。

### (3) 環境美化支援部

子供たちが快適に学校生活を送れるよう、校内の環境美化に取り組んでいます。今年度は、屋上のピオトープの整備に取り掛かり、子供たちが少しでも自然を味わえる環境づくりを行いました。

具体的な協議内容や実践報告などは、「地域協働学校運営協議会だより」をご覧ください。配布とともに、本校ホームページにも掲載しています。

## まなびの教室

特別支援教室専門員

子供たちは、誰もが得意なものと苦手なものを共にもち合わせています。それがかけがえのない個性のもの一つにもなっています。ただ、この得意・不得意に著しい差があって、その子に合った学び方を必要とする場合、「まなびの教室」において、巡回指導教員（戸塚第二小学校）より適切な指導が受けられます。

授業は毎週金曜日に行われ、学年別に2時間の学習をしています。基本的に、前半の1時間は個々のニーズに応じて、「スピーチ」「ソーシャル・スキル・トレーニング」「聴き取りワーク」「ビジョントレーニング」などの個別指導を受けます。後半の1時間はグループ活動となり、意思表示能力や意見の認め合いを高めるコミュニケーション活動と、基礎的な運動能力の向上と運動経験の拡大を図る活動をしています。

このように、多種多様なプログラムで学習支援のニーズに応えています。併せて使用する教具・教材も多彩に富んでいます。まさに、「まなびの教室」は「学びの玉手箱」を模しています。そのお陰で、利用している子供たちは皆、気持ちをわくわくさせながら「まなびの教室」に勇んで駆け付け、意欲的に学習に取り組んでいます。

特別支援教室専門員としても、こうした活動がより円滑に行え、実りのあるものとなるよう、本校教員及び巡回指導教員と連絡調整を密にとっていきます。